

# 安全データシート ~ Safety Data Sheet

## G-Mount

### 1. 製品および会社情報

製品名 : G-Mount (ジー・マウント)  
製品番号 : GM-01  
推奨用途 : プレパラートへの試料の封入  
使用上の制限 : 上記の用途以外で使用しない

会社名 : ジェノスタッフ株式会社  
住所 : 〒113-0032 東京都文京区弥生 2 丁目 5-8 GSビル  
電話番号 : 03-5615-8857  
FAX 番号 : 03-5615-8858  
電子メールアドレス : [support@genostaff.com](mailto:support@genostaff.com)

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS 分類

#### 健康に対する有害性

急性毒性 経口 : 区分 5

(注) 記載なき GHS 分類区分 : 該当しない/分類できない

#### GHS ラベル要素

絵表示 : なし  
注意喚起語 : なし  
危険有害性情報 : 通常取り扱いでは、危険性は低い。  
ただし、0.05%以下のアジ化ナトリウムが含まれているため、取扱いは注意する。  
注意書き : 該当しない

### 3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

化学名	濃度	分子式	化審法官報 公示番号	安衛法官報 公示番号	CAS番号
ポリビニルアルコール	非公開	(CH <sub>2</sub> CHOH) <sub>n</sub>	(6)-682	公表	9002-89-5
アジ化ナトリウム	0.05%	NaN <sub>3</sub>	(1)-482	公表	26628-22-8

分類に寄与する不純物または安定化添加物 : 該当なし

## 4. 応急措置

- 吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息する。  
気分が悪いときは、医療処置を受けること。
- 皮膚に付着した場合 : 速やかに皮膚を多量の水と石鹼で洗浄する。  
皮膚刺激が生じた場合や気分が悪いときは、医療処置を受けること。
- 眼に入った場合 : 水で数分間、注意深く洗う。  
コンタクトレンズを容易に外せる場合は、外して洗う。  
眼の刺激が持続する場合は、医療処置を受けること。
- 飲み込んだ場合 : 口をすすぐ。  
気分が悪いときは、医療処置を受けること。
- 応急措置をする者の保護に必要な注意事項 : 状況に応じて適切な保護具を着用する。

## 5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 現場状況と周囲の環境に適した消火方法を行うこと。
- 使ってはならない消火剤 : 特になし。
- 火災時の特有の危険有害性 : 特になし。
- 特有の消火方法 : 危険でなければ火災区域から容器を移動する。  
容器を移せない場合は、容器およびその周辺に散水してして冷却する。
- 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 : 消火活動は風上から行い、ガスの吸入を避ける。  
状況に応じて適切な保護具を着用する。

## 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置 : 十分な換気を確保する。  
作業者は適切な保護具を着用する。
- 環境に対する注意事項 : 製品の環境中への流出を避ける。  
汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。
- 回収、中和 : 漏洩した液は布や紙などで拭き取り、その場所は水で十分に洗い流す。
- 二次災害の防止策 : 環境規則に従い、汚染された物および場所をよく洗浄する。

## 7. 取り扱い及び保管上の注意

- 取り扱い
- 技術的対策 : 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。  
『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。
- 安全取扱注意事項 : 容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。  
容器を密閉しておく。

十分な換気を確保する。  
 液の漏洩及び蒸気の発散を極力防止する。  
 ガス、ヒューム、蒸気、ミスト、スプレーを吸入しない。  
 皮膚や眼との接触を避ける。  
 作業域内では飲食及び喫煙をしない。  
 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。

接触回避 : 『10. 安定性及び反応性』を参照。  
 保管  
 保管条件 : 容器を密閉し、直射日光を避け、換気の良い場所に保管する。  
 混触危険物質 : 強酸化剤  
 容器包装材料 : 密閉容器

## 8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度 : 設定されていない  
 許容濃度 : 設定されていない  
 設備対策 : 取り扱いについては、できるだけ発生源を密閉化するか、局所排気装置を使用する。  
 取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

保護措置  
 呼吸器用保護具 : 通常は不要であるが、必要に応じて適切な保護マスクを着用する。  
 手の保護具 : 通常は不要であるが、必要に応じて適切な保護手袋を着用する。  
 眼の保護具 : 通常は不要であるが、必要に応じて適切な安全眼鏡および顔面保護具を着用する。  
 皮膚及び身体の保護具 : 通常は不要であるが、必要に応じて適切な長袖作業衣を着用する。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など : 透明な粘稠液体  
 臭い : データなし  
 pH : データなし  
 沸点 : データなし  
 融点・凝固点 : データなし  
 初留点及び沸騰範囲 : データなし  
 引火点 : データなし  
 爆発範囲 : データなし  
 蒸気圧 : データなし  
 蒸気密度(空気=1) : データなし  
 比重(密度) : データなし  
 オクタノール／水分配係数 : データなし  
 自然発火温度 : データなし  
 蒸発速度(酢酸ブチル=1) : データなし  
 粘度 : データなし  
 溶解性 : 水に溶ける。  
 エタノールやジエチルエーテルにほとんど溶けない。

## 10. 安定性及び反応性

化学的安定性	: 通常の条件下では安定である。
反応性	: 通常の条件下では反応しない。
危険有害反応可能性	: 通常の条件下では安定である。 強酸化剤と接触すると反応することがある。
避けるべき条件	: 高温、直射日光、混触危険物質との接触
混触禁止物質	: 強酸化剤
危険有害な分解生成物	: 通常の使用条件下ではなし。

## 11. 有害性情報

※ この製品に関する試験データは得られていないため、ポリビニルアルコールとして記載する。

急性毒性 経口	: 区分 5 マウスの LD50 > 14700mg/kg ラットの LD50 > 20000mg/kg
経皮	: データ不足のため分類できない。
吸入	: データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性または皮膚刺激性	: 皮膚を刺激する可能性がある。
眼に対する重篤な損傷または眼刺激性	: 眼を刺激する可能性がある。
呼吸器感作性または皮膚感作性	: データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性	: データ不足のため分類できない。
発がん性	: データ不足のため分類できない。
生殖毒性	: データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: データ不足のため分類できない。
吸引性呼吸器有害性	: データ不足のため分類できない。
その他情報	: この製品及び構成成分の人の健康への影響に関するデータは不十分なため、最大の注意を払う必要がある。

## 12. 環境影響情報

※ この製品に関する試験データは得られていないため、ポリビニルアルコールとして記載する。

生態毒性	: 魚毒性 (ヒメダカの LC50/48H > 1000mg/L)
残留性・分解性	: データなし
生体蓄積性	: 魚介類の体内において、蓄積性がないまたは低いと反される物質である。
土壌中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: データなし
その他情報	: この製品及び構成成分の自然環境への影響に関するデータは不十分なため、最大の注意を払う必要がある。

### 13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 関連法規並びに地方自治体の条例に従うこと。または、都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託処理する。  
 汚染容器及び包装 : 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

### 14. 輸送上の注意

- 国連番号 : 該当なし  
 海洋汚染物質 : 該当しない  
 国際規制  
   陸上規制情報 : ADR/RID 規制されていない  
   海上規制情報 : IMO 規制されていない  
   航空規制情報 : ICAO/IATA 規制されていない  
 国内規制  
   陸上規制情報 : 規制なし  
   海上規制情報 : 非危険物  
   航空規制情報 : 非危険物  
 特別な安全対策 : 運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実にを行う。

### 15. 適用法令

- 消防法 : 該当しない  
 毒物及び劇物取締法 : 該当しない  
   \* アジ化ナトリウムの含有量は 0.05%以下なので該当しない。  
   毒物 政令第 1 条第 1 号  
 労働安全衛生法 : 該当しない  
   \* アジ化ナトリウムお含有量は 0.05%以下なので該当しない。  
   法第 57 条 (令第 18 条) 名称等を表示すべき有害物 No.9  
   法第 57 条の 2 (令第 18 条の 2) 名称等を通知すべき有害物 No.9  
 化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法) : 該当しない  
 化学物質審査規制法 (化審法) : 該当しない  
 海洋汚染防止法 : 該当しない  
 水質汚濁法 : 該当しない  
 危険物船舶運送及び貯蔵規則 : 該当しない  
 航空法 : 該当しない  
 輸出貿易管理令 : 該当しない

### 16. その他の情報

SDS の作成と改訂

作成 : 2021 年 9 月 6 日      SDS-013-R1.0  
改訂 :

参考資料 : NITE: 独立行政法人 製品評価技術基盤機構  
<http://www.safe.nite.go.jp/japan/db.html>  
IATA 危険物規則書  
RTECS: Registry of Toxic Effects of Chemical Substances  
中央労働災害防止協会 GHS モデル SDS 情報  
GHS 改訂 8 版  
事業者向け GHS 分類ガイダンス(令和元年度改訂版 Ver.2.0)

免責事項 : 記載内容は現時点で入手できる資料・情報・データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので、化学物質の安全性の指標としてのみお使いください。また、この記載内容は情報提供を目的としており、当該化学物質の取り扱い上のいかなる保証をなすものではありません。